

林謙一 けんいち 随筆家、小説家。明治二十九年十一月六日東京生れ、昭和五十五年十一月一日没（一九〇一—八〇）。早稻田大學理工學部建築學科卒。新聞記者を経て情報局情報官、海軍司政官と務め、戦後追放処分。のち日本交通公社、全日本觀光連盟勤務。傍ら宣傳技術、美術關系の著譯書を出版。昭和二十七年雑誌『婦人画報』に掲載の母の一代記が、小野田寛の脚色でNHKテレビの朝の連続ドラマ「おはなはん」(とが)、『高視聽率』で得た。

隨筆集『おはなはん』(昭和四十一年六月二十日文藝春秋)、『サンドイツ親爺』(昭和四十二年七月五日信啓社)、小説『2Bの鉛筆』(昭和四十九年六月二十日文藝春秋)等がある。

